

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		職員が、地域密着型サービスであるという理解を深め、グループホームが示す理念を浸透させより、質の高いケアの提供を目指す。	グループホーム独自の理念を職員に深く浸透する。	毎日の朝礼で、グループホーム理念を唱和し理解を深める。 「介護保険法の根源や地域密着型サービスの理解、グループホームの理念」の研修を年1回実施する。	24ヶ月
2		その人らしい暮らしを継続し支援するため、一人ひとりの思いや意向などの細かい情報を職員間で共有する必要がある。	より深く入居者様をアセスメントし、一人一人が望む暮らしを知り、職員間で共有した上でケアを提供する。	毎日の生活では、個々の利用者の能力を発揮できる場面を多く作り、その人らしく過ごせるように、一人ひとりの思いや意向、自己で行えていることを24生活シート及びケアプランに組み込む。	6ヶ月
3		利用者家族や地域住民との交流を継続し、地域に根差した施設を目指す。	地域に根差した施設となるべく、地域住民と交流の場を作る。	屋上や中庭にパラソルやベンチなどを設置し、憩いの場として活用する。地域住民の方にも呼びかけ、喫茶を運営する。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。